

せったん

第 201 号 2025 年 11 月 25 日

● 発 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
● 行 神戸フコク生命海岸通ビル 5 階
TEL078-393-1801 FAX 078-393-1802

北摂・丹波支部ニュース



嚥下に関する仕組み、トレーニング効果を説明する浦長瀬先生



北摂・丹波支部は、10月11日に三田市・キッピーモールにて第37回支部総会を開催し、20人が参加。総会議事では24年度活動のまとめと新年度活動方針案を承認し、支部役員および医科評議員の選出を行った。

記念講演は、「健康者への嚥下障害予防トレーニング」をテーマに神鋼記念病院耳鼻咽喉科部長の浦長瀬昌宏先生が講演した。倉澤志朗先生の感想文を紹介する。

2025年10月11日に開催された北摂・丹波支部総会記念講演に参加し、嚥下機能の重要性とその予防について、多くの学びと気づきを得ることができました。これまで「嚥下障害」は高齢者や病気による問題と捉えがちでしたが、今回の研修を通じて、健康者の段階から日常的に嚥下機能を意識し、トレーニングを取り入れることが、将来の誤嚥性肺炎の予防に直結することを理解しました。

感想文

嚥下トレーニングの新たな視点

特に印象的だったのは、舌骨上筋群を鍛えることによって嚥下機能の向上が期待できるだけでなく、顎周囲のシェイプアップや声の質の改善にも効果があるという点です。これは見た目

や声といった、健康とは一見関係のなさそうな分野にも良い影響を与えることを示しており、嚥下トレーニングが持つ多面的な効果に驚かされました。また、今回の講義では「そもそも嚥下とはどういう働きか」といった基本的な仕組みにも立ち返ることができ、解剖学的・生理学的な視点からも理解が深まりました。

日々の生活の中で、食べる・飲み込むという動作は無意識に行っているものですが、加齢や生活習慣の影響で少しずつ機能が低下していくことを防ぐには、やはり早期からの予防的アプ



会員・スタッフ 20 人が参加した (キッピーモールにて)

ローチが大切だということを再認識しました。今回学んだトレーニング法は、自宅でも無理なく取り組めるものが多く、自分自身の健康維持のために取り入れると同時に、家族や地域の方々にも伝えていきたいと思っています。

今回の研修を通じて、嚥下障害を「予防する」という視点の大切さ、そして嚥下を単なる食の機能としてではなく、全身や生活の質にも関わる大切な働きとして捉えることの重要性を実感しました。学びを日常生活に活かし、今後の活動にも役立てていきたいと思っています。

【三田市・倉澤志朗】



懇親会も活発な意見交換で交流を深めた

北摂・丹波支部役員体制 (敬称略・地区五十音順)

【支部長】 中西 透 (三田市)
【副支部長】 安部 治郎 (三田市) 小寺 修 (三田市) 武中 睦美 (三田市)
【支部幹事】 (三田市) 大槻 栄人 岡本 晴夫 木村 忠史
武本 淑子 廣瀬 智 福田 隆光
(丹波篠山市) 多幡 秀隆 増田 耕一
(丹波市) 水野 良司
【支部顧問】 森下 順彦 (三田市)

市民公開企画

2026 年 3 月 1 日開催 参加費無料

映画『ウナイ 透明な闇 PFAS 汚染に立ち向かう』 上映会 & 学習会



2025 年 / 日本 / 106 分 / GODOM 沖縄
(製作協力: 太秦)

近年、川や地下水、水道水、さらには人の血液などから PFAS (有機フッ素化合物) が検出され、健康への懸念が広がっています。PFAS は非常に安定した性質を持ち、自然界でほとんど分解されない性質から、人や動植物の生息・生育に影響を及ぼすと度々指摘されてきました。兵庫県内でも、暫定指針値を大幅に上回る汚染が明石川流域で見つかっています。

支部は、沖縄の PFAS 汚染の問題に声を上げた女性たち取材したドキュメンタリー映画「ウナイ 透明な闇 PFAS 汚染に立ち向かう」の上映と学習会を来年 3 月に企画しています。

兵庫県保険医協会 北摂・丹波支部 会員懇談会のご案内

日常診療で気を付けたい法的知識 ーよくある相談事例からー

日時 12月20日(土) 午後6時～7時30分
会場 三田市・キッピーモール6階講座室 (JR・神鉄三田駅前)
講師 協会顧問弁護士、神戸花くま法律事務所
参加費 無料 野田 倫子 弁護士

このたび、日常診療で気を付けたい法的知識と題してお話させていただきます。
応召義務とクレーム対応、ネット上の誹謗中傷への対応、未払い治療費の回収、医療機関におけるハラスメント対策義務、など、日常の診療で、問題になりやすいケースとその対応について、事例をもとにお話させていただきます。

ご質問や、弁護士に聞いておきたいことがあれば事前にもお知らせください。(野田 記)

協会は保険診療法制研究会の弁護士が執筆した冊子『医師・歯科医師のための知っておきたい法律知識』をこのほど発刊しました(参加者に進呈)。

◆終了後、講師を囲んで懇親会(有料・会場や参加費は別途ご連絡)も予定しています。



※三田駅前第一駐車場2時間30分、第二駐車場3時間30分
無料「駐車サービス券」発行

お問い合わせは、078-393-1801 平井まで

北摂・丹波支部会員懇談会(12/20) 参加申込書

FAX(078)393-1802

参加者名	職種	終了後懇親会
	医師・歯科医師・事務長・()	参加・不参加
	医師・歯科医師・事務長・()	参加・不参加

地区:()市()区

医療機関名: _____

☎ () fax ()



講師の松田幸子先生

★伝達したものを絵にする

参加者の感想から(抜粋)

ことが難しく、伝え方って自分が思っている以上に難しいことがわかりました。患者さんは真つ白な状態で聞いていることを意識したいと思います。
★患者対応の基本からもう一步踏み出した対応まで学ぶことができました。年配

北摂・丹波支部は、9月20日に三田市・キッピーモールにて職員接遇研修会を開催し、11人が参加した。講師は今年も企業・病院研修等で活躍している松田幸子先生が務めた。
今年は、患者対応の基本に加え、共感や声掛け言葉の増やし方、わかりやすい説明の仕方をケーススタディで学習。コミュニケーションの重要性を体験する図形伝達ゲームに会場は大いに盛り上がった。

相手の気持ちを想像して
共感の言葉にする



図形伝達ゲームに全員でチャレンジ

の方への言葉や話し方に難しさを感じていたので、正しい情報の伝え方、話し方、表情を意識することなど、とても勉強になりました。アイコンタクトも大切と知り、患者さんの目を見て話すことを意識したいと思います。
★笑顔や声のトーンなどはもちろん、ワンランク上を目指すためにはコミュニケーション上手になることが必要だと思いました。私

★患者さんに説明をする際に、自分が説明できることを一気に話してしまいがちなので、患者さんが返事やうなずきなどの反応が返せるような話し方を心掛け、理解ができているか表情を見ながら対応したいと思います。

は語彙が少ないので、相手の気持ちを想像したり、様子や状況を観察したりしながら言葉にして語彙を増やしたいと思います。



表情や声のトーンを意識して表現する参加者